

2023年3月 15 日
株式会社タケエイ

JWガラスリサイクル株式会社の株式譲渡に関するお知らせ

当社は、親会社である TRE ホールディングス株式会社(以下、TRE-HD)との間で、当社 100%子会社であるJWガラスリサイクル株式会社(以下、JWガラス)の全株式について株式譲渡契約を締結いたしました。

JWガラスは、板・瓶硝子の再資源化事業を展開しており、2022年5月にTRE-HD発足後のM&A第1号として、当社の連結子会社となり、業績は堅調に推移しております。

今後についても、同社の主要顧客である板・瓶硝子メーカーやグラスウールメーカーが脱炭素化の取り組みを進め、再生原料の利用によってガラス製造過程でのCO₂の発生を抑制できることから、同社の提供する質の高いガラスカレットは強い需要が見込まれています。

また、ガラスのリサイクル需要は、特に以下の2分野において中長期的に高まると考えられます。

1) 2009年に余剰電力買取制度の開始以降、太陽光発電の急速な拡大に伴い全国的に設置が増加してきた太陽光パネルは、2030年頃からは交換や大量廃棄されるパネルの適正な処理が社会的な課題となることが予想されております。当社グループは、2022年より株式会社信州タケエイにおいて、太陽光パネルリサイクル事業を開始しており、当社相馬事業所においても太陽光パネルリサイクル事業を開始する予定です。

2) 当社と親会社を同じくするリバー株式会社において、国内トップクラスの処理量を誇る自動車のフロントガラスは、現状はASR(自動車由来のダスト)として主に埋立処分をしておりますが、経済産業省と環境省によって、2026年1月(予定)より「解体インセンティブ制度」(仮称)導入が検討されるなど、埋立処分からリサイクルへの転換が見込まれております。

以上の状況を鑑み、今般、このガラスリサイクル需要への対応を重要なビジネスチャンスと捉え、同社をTREグループのリサイクル事業全体に横断的に関わる戦略的な子会社として明確に位置付けるため、TRE-HDへ株式を100%譲渡することといたしました。

当社は、TREグループの企業理念である「地球の環境保全に貢献する。」を体現し、高度循環型社会及び脱炭素社会へのシフトを主導するべく、グループ一丸となってガラスリサイクルスキームの構築にまい進いたします。

詳細は [TRE-HD のプレスリリース](#)をご参照ください。

以上